



1 2 月 の 行 事 予 定



日	曜	行事
1	水	4時間授業 行政書士出前授業 (6年3校時)
2	木	展覧会紹介朝会 駅伝練習 民話と伝承遊び (1・2年2・3校時)
3	金	展覧会児童鑑賞日 ランRUN 前日準備 (5・6年6校時)
4	土	土曜授業 (ランRUNと展覧会のみ公開) 5時間授業 給食あり ランRUN フェスティバル 展覧会保護者鑑賞日
5	日	駅伝大会
6	月	振替休業日
7	火	全校朝会 喫煙防止教室 (6年3校時) プラス放課後練習 あいさつ当番 (アサガオ①)
8	水	寄席演芸教室 (4年) あいさつ当番 (アサガオ①)
9	木	児童集会 プラス放課後練習 あいさつ当番 (アサガオ②)
10	金	クラブ あいさつ当番 (アサガオ②)
11	土	
12	日	
13	月	全校朝会 プラス放課後練習
14	火	避難訓練 あいさつ当番 (バラ①)
15	水	あいさつ当番 (バラ①)
16	木	音楽朝会 プラス放課後練習 あいさつ当番 (バラ②)
17	金	あいさつ当番 (バラ②)
18	土	
19	日	
20	月	全校朝会 自転車講習 (3年3・4校時) プラス放課後練習
21	火	6年校外学習
22	水	
23	木	登校班会議 給食終了
24	金	終業式
25	土	
26	日	
27	月	冬季休業日始
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

3学期 (1月) のあいさつ運動
 チューリップ 1/18 (火) ~ 1/21 (金)
 デイジー 1/25 (火) ~ 1/28 (金)



せんぞく

令和3年11月30日 12月号

台東区立千束小学校
校長 瀧島 和則
TEL 3 8 7 6 - 3 7 1 7



↑千束小 HP

教育目標 明るくたくましい子 深く考え最後までやりとげる子 思いやりのある心の豊かな子

寄り添い、励まし、褒めて迎える展覧会

副校長 地平 憲司

11月15日から2泊3日で実施できた2年ぶりの「6年生日光移動教室」、何よりも子供たちにとって、そして、学校にとっても「本当によかった」と思える行事となりました。保護者の皆様はじめ、実施に向けてご尽力いただいた全ての方々に心より感謝申し上げます。6年生にとっては、小学校生活のかけがえのない思い出になったことと思います。本当にありがとうございました。

さて、右の写真は、12月3日・4日に開催される「展覧会」に向けて準備を進める体育館の様子です。今はまだ雑然とした景色ですが、図工専科・山本教諭の頭の中には、様々な思いが駆け巡っていることと思います。



実は、私も駆け出しの頃と管理職になる前の数年間、図工専科を経験させていただきました。教科・図工の特性や指導方法について研修を重ねながら四苦八苦の日々でしたが、図工の魅力は、子供たちの思いが必ず作品に表れること（まさに自分ごと）です。平面作品にしても立体作品にしても、子供たちはゼロからスタートし、軌道修正したり新たな工夫を加えたりしながら、思いを形にしていきます。私は、アドバイスというより「いいね〜。」「なるほど〜。」といった声かけを大事にしていました。なぜなら、作品のテーマさえ決まれば、ゴールは「みんなちがってみんないい」からです。絵が好きな子もいれば、工作が得意な子もいます。当然、苦手な子もいます。でも、自分の思いを形にしていく「過程」で、子供たちは自分自身としっかり向き合うこととなります。その姿を見ながら、ちょっとした会話をするのがとても楽しい時間でした。当然、どの子も上手いかわなくて諦めなくなる瞬間が必ず訪れます。そんな時は、「最後まで頑張ろうよ。」「大丈夫だよ。」と「応援」しながら、休み時間や放課後に悩める子供たちと一緒に作品を眺めていました。「ああでもない、こうでもない。」と向き合っているうちに、不思議とその子らしい「作品」が生まれました。ほぼ全ての子が「これでいい？」と同意を求めてきます。私は、「いいんじゃない。頑張ったね。」「・・・その繰り返しだったように思います。そして、制作過程を知っているからこそ分かる作品の良さがありました。また、それが図工専科の楽しさ・醍醐味だったように改めて思います。

今年度の学校経営方針の柱は、【寄り添う】【励ます】【褒める】です。コロナ禍という特殊な環境下にあっても、各学年、各教室、各授業で先生方と子供たちが一生懸命向き合いながら、千束小学校らしい日常が送られています。そんな中で、山本教諭が子供たちに寄り添い、励まし、褒めて迎える初の「展覧会」です。

山本教諭からの「鑑賞していただきたい視点」をお伝えします。

- ★子供たちには、それぞれの作品の「いいところを見つけよう」と伝えています。
- ★「いいところ」とは「工夫したところ」「がんばった跡がみえるところ」です。
- ★子供たち一人一人の「よさ」を鑑賞していただき、たくさん褒めてあげてください。

よろしく願いいたします。